

自動車整備科・一級自動車工学科			2025年		授業計画	
時 期	2 年 A 巡	単元	学科	教科名	電装品整備1	
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	2 級ガソリン自動車 エンジン編		発行日	2024.4.1
			2 級ジーゼル自動車 エンジン編			
総時限	15時限		科目別問題		教科担当	福田
必要時限	15時限					木藤
指導教員の実務経験						
自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の構造、作動について指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①自動車のバッテリーの構造、機能、整備を理解する。 ②スタータモータの構造、機能、整備を理解する。 ③オルタネータの構造、機能、整備を理解する。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）						
①自動車のバッテリーの種類、特性が理解出来る。 ②バッテリーの構造、機能、整備が理解出来る。 ③スタータモータの部品名称が分かり、作動が理解できる。 ④オルタネータの部品名称が分かり、作動が理解出来る。						
学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1）履修試験での学習評価 筆記試験 1 0 0 点にて評価する。 整備科、S P M 科 6 0 点以上で合格、工学科 7 0 点以上で合格。 2）出題試験項目 ①バッテリーの機能、整備。 ②スタータモータの機能、構造、点検 ③オルタネータの機能、構造、点検						
準備学習						
事前に一年 B、C 巡電装品構造の内容を確認し、バッテリーの構造、機能等を復習する。 今回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。						
指導目標						
①自動車のバッテリーの種類、特性を理解出来るようにさせる。 ②バッテリーの構造、機能、整備を理解出来るようにさせる。 ③スタータモータの機能、構造、点検を理解出来るようにさせる。 ④オルタネータの機能、構造、点検を理解出来るようにさせる。						

2025年 授業計画

[illegible]

時 期	2 年 B 巡	単元	学科	教科名	電装品整備2	
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	2 級ガソリン自動車 エンジン編		発行日	2024.4.1
			2 級ディーゼル自動車 エンジン編			
総時限	14時間		2級自動車シャシ		教科担当	
必要時限	14時間		科目別問題			

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の構造、作動について指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①点火装置の概要、機能、制御について理解する。
- ②予熱装置の概要、機能、制御について理解する。
- ③計器、警報装置の概要、構造、機能を理解する。
- ④外部診断機を理解する。
- ⑤空気調和装置の概要、構造、機能を理解する。
- ⑥電気装置の配線の概要、構造、機能を理解する。
- ⑦安全装置及び付属装置の概要、構造、機能を理解する。

授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

- ①点火装置の概要、機能、制御について理解できる。
- ②予熱装置の概要、機能、制御について理解できる。
- ③計器、警報装置の概要、構造、機能を理解できる。
- ④外部診断機を理解できる。
- ⑤空気調和装置の概要、構造、機能を理解できる。
- ⑥電気装置の配線の概要、構造、機能を理解できる。
- ⑦安全装置及び付属装置の概要、構造、機能を理解できる。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①点火、予熱装置の構造、機能、整備。
 - ②計器、警報装置の構造、機能。
 - ③外部診断機に関する知識。
 - ④空気調和装置の構造、機能。
 - ⑤電気装置の配線の構造、機能。
 - ⑥安全装置の構造、機能。

準備学習

事前に一年C、D巡電装品構造の内容を確認し、充電装置、計器装置の構造、機能等を復習する。
科目別問題をベースに解説を行い、二級に向けた勉強を行う。

[illegible]